

デイ事業 自社物件に移転

SHIBUYA(東京都足立区)は昨年9月に東京都足立区で運営する短時間のリハビリ型デイサービス「SHIBUYAデイサービスセンター」を同区内において移転し、1日型のデイサービスを併設させてリニューアルオープンした。



SHIBUYA
渋谷恒男社長

ケースが増えてきたこと、同居の高齢者からは食事や入浴のサービスを求められていたこと、小規模デイサービスが新設

SHIBUYAは2011年2月にサロンオーによる経営改革の必要性からサビーズ(東京都中央区)などからサービスの拡大に着手。2014年2月ハビリマシン「リハトレナー」を導入し、同社の開設支援を受けながら整備院に併設させる形でリハビリ型デイサービスを開設した。定員10人、事業の採算性などを考慮し、開設後間もなく稼働率100%を達成した。

しかし、利用者が入院や高齢者住宅などへの住み替えで通えなくなる



▶「SHIBUYAデイサービスセンター」の外観

「前々から目をつけていた」という春は桜が綺麗に咲き、いつも子供達の声で賑わう公園前の土地に地上3階建ての建物を建設。1階を1日型、2階を短時間のリハビリ型のデイサービスとしてリニューアルした施設は、土地・建物とも自社所有だ。

大規模移行も検討

これまで通りリハビリ型において主要となるリハトレナーは高齢者向けに考案された運動理論に基づきプログラムが内蔵されており、利用者ごとに負荷を自動で調整す

注目企業 レポート

のため、スタッフの負担が少なく済む。リハビリによる身体状況の改善度も、利用者・家族・ケアマネジャーに分かりやすいグラフ形式で示すことができ



▶リハビリ型デイサービスの様子。活気にあふれている



▶リハビリの中心となる「リハトレナー」

リハトレナーはケアマネジャーからも好評で「自分000円で開放すること分達も使いたい」という意見を寄せられていると

“1日型”併設でリニューアル

オケ専用ルームを設けたほか、個浴・機械浴、麻雀卓、トレッドミルを始めとしたトレーニングマシンなどを揃えた。食事や入浴のニーズに添えながら、認知症の予防・ケアにも力を入れ、1日型デイサービス2〜3店舗を近隣に新設したいという。また、1日型のデイサービスは認知症患者の利用も増えていることから運動による認知症予防に加え、ITツール日型は月々土曜を採り入れた脳トレなど日型を稼働日として認知症の予防・ケアに、定員はともも取り組んでいく方針に25人。定員30だ。